

## 第3回課題

---

### 課題5（コンピュータ大貧民プログラムの実行状況のスクリーンショット）（必須）

大貧民サーバを起動し、大貧民標準クライアント（tndhm\_devkit\_c-20180826.tar.gz に同梱されている方）を5台起動する。

サーバの実行画面（クライアント名が default と表示されている対戦画面）とグラフの画面（棒グラフか線グラフ）の計2画面のスクリーンショットを撮りなさい。

なお、スクリーンショットは、以下の操作によって取得可能である。

- 画面全体の画像の取得：  
「PrintScreen」キー（「Fn」キーを押しながら「i」のキー）を押す
- 指定範囲の画像の取得：  
「Shift」＋「PrintScreen」キーを（「Shift」、「Fn」、「i」のキーを同時に）押した後、マウスでドラッグして範囲を指定する
- 指定したウィンドウの画像の取得：  
画像を取得したいウィンドウをアクティブにした後、「Alt」＋「PrintScreen」キーを（「Alt」、「Fn」、「i」のキーを同時に）押す

取得した画像は、各自のホームディレクトリ直下の、「画像」（または「ピクチャ」）のディレクトリ内に保存される。

---

### 課題6（ペア出し機能の実装）（必須）

コンピュータ大貧民教育用クライアント（tndhmc-0.03.tar.gz）のディレクトリ src にある、select\_cards.c などを変更し、ペア出し機能を実現しなさい。この課題では、場にカードがない状況で、かつ提出するカードにジョーカーを含まない場合について実装すること。

実装が完了したら、大貧民サーバを立ち上げゲームを実行し、ペア出しが行われている様子がわかるスクリーンショットを取得すること（サーバの実行画面中のクライアントプログラム名が Normal と表示されているか、確認すること）。

また、実現したペア出し機能について、以下の考察を行うこと。

1. 配列をどのように使って処理をしているか。
  2. 該当するソースコードの記述によって何故その機能が実現できているのか。
- 

### レポートの仕様

- レポートの先頭にタイトルや氏名等を書く。  
「プログラミング言語実験・C言語 第3回課題レポート」と書き、続いて各自の学籍番号と氏名を記入する。
  - 課題5の提出物として以下を含むこと。  
コンピュータ大貧民プログラムの実行状況のスクリーンショットを印刷したもの
  - 課題6の提出物として以下を含むこと。  
実装した「ペア出し機能」のソースコード、作成したソースコードについての考察、ペア出しの様子がわかる実行画面のスクリーンショット
- 

## 提出方法と期限

上記仕様のレポートをA4用紙に印刷し、授業時間中に教育用計算機室（東3号館501号室）で直接手渡すこととする。

第3回目の課題に対するレポートの提出期限は、次のとおりとする。

- 月曜受講生：令和元年5月13日（月） 午前10時50分
  - 火曜受講生：令和元年5月14日（火） 午前10時50分
- 

 [戻る](#)

---